

第5学年 道徳科学習指導案

令和3年6月28日（月）第5校時

1 主題名 夢に向かって 内容項目【A 希望と勇気、努力と強い意志】

2 ねらい ディズニーが困難なことがあっても前向きに努力し続けた訳を考えることを通して、夢や希望をもち続けることの大切さについて気づき、信じたことに希望をもってくじけずに努力しようとする心情を育てる。

教材名 「ミッキーマウスの誕生」(出典「みんなの道徳 5年」 学研)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

小学校第5学年及び第6学年の指導の観点は、「より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。」である。これは小学校第3学年及び第4学年の「自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。」を受けて、中学校の「より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。」へと発展していく。

児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやりぬく忍耐力を養うことが求められる。

こうしたことはただ漠然と努力するのではなく、自分に適した目標を設定し、見通しをもってよりよい自己を実現しようとする向上心と結び付いてこそ、前向きな自己の生き方が自覚できるようになる。そのためにも、児童がより高い目標を立てたり、その実現を目指して自分としての夢や希望を掲げたりすることが大切である。自分の目標に向かって、勇気をもって困難や失敗を乗り越え、努力することができるようにすることが重要である。

小学校高学年の段階は、児童がそれぞれに高い理想を追い求める時期と言われる。先人や著名人の生き方に触れる機会が多くなり、その生き方に憧れたり、自分の夢や希望を膨らませたりする。一方、自分自身に自信がもてなかったり、思うように結果が出なかったりして、夢と現実との違いを意識することもある。このような時期であるからこそ、様々な生き方への関心を高めるとともに、自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指して希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力しようとする強い意志と実行力を育てる必要がある。

指導に当たっては、子どもたちがウォルト・ディズニーを自分とは全く違う立場の存在として捉えるのではなく、自分と同じように失敗したりくじけそうになったりしたことがあることに気付かせたい。また、3種類の発問や話し合い活動を通して、ウォルト・ディズニーが夢を叶えるまでの過程を多面的・多角的に考えさせたい。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級はこれまで『世界に羽ばたく「航平ノート」』の学習で高い目標を立て続け、それに向かって努力することの大切さについて学習してきた。幼いころから大舞台上で活躍する自分を想像し、挫折に負けず目標を立て続けた内村航平選手のすごさを押さえながら、これからの自分の生き方に生かせることは何かについて考えることができた。夢や困難な状況に陥ったことについて、児童にアンケートを実施した。結果は次のとおりである。

○将来の夢はありますか。どんな夢ですか。

ある… 人

【職業】 医者・イラストレーター・看護師・デザイナー・ピアニスト・プログラマー・ユーチューバー
ダンサー・科学者・獣医・警察官・消防士・教師・キャビンアテンダント・鳥類学者・スポーツ選
手・設計士・生物学者・昆虫博士・建築士

【その他】 優しい大人・人種差別のない世界を作る

まだない… 人

○目標に向かって努力している時、「もうできない」と諦めてしまう様な困難な状況を経験したことはあり
ますか。

ある… 人 ない… 人

○困難な状況に出会った時どうしましたか。

諦めた… 人

・自分に向いていないことを続けるのではなく特技を生かした別のことができるのではないかと考えたから。

諦めなかった… 人

- ・友達や家族が励ましてくれたから。
- ・その時辛くてもできた時楽しいから。
- ・夢を叶えたかったから。
- ・悔しいから。
- ・そこで諦めたらずっとできないままだから。
- ・そこでやめたら負けたみたいで嫌だから。
- ・憧れの人に近づきたかったから。

調査結果を見ると、クラスの大体の児童が将来の夢やなりたい大人の理想像をもっていた。また、困難な状況に出会ったことのある児童はクラスの半分弱で、その多くが学習や習い事など、自分の実力が及ばず続けていくことに自信を無くした状況であった。困難な状況に出会ったとき、諦めた児童は 人であった。諦めた理由については自分の力を別の方向で生かしていこうという前向きな答えであった。

人生を左右するような困難な状況を経験したことがある児童は、このアンケートからは見受けられなかった。しかし、この先生きていくうえで人生を左右する決断に迫られるときは必ず来ると考えられる。そこで、そんな時にも夢と希望を忘れずに、くじけず努力しようとする態度を育てたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、幾度もの困難に負けず、新たなキャラクターを生み出そうと努力するウォルト・ディズニーの姿を通して、ねらいに迫るものである。これまでディズニーが生み出した数多くのキャラクターには、どの児童も興味をもつと考えられる。ディズニーの努力、諦めない姿勢について考えることを通して、自分の目標をもって、くじけず努力し、自分を向上させることの大切さについて考え、より高い目標を立て、信じたことに希望をもって、努力しようとする気持ちを育てていくことのできる教材である。

本教材ではディズニーが「ミッキーマウス」を生み出すまでに直面した2つの困難について書かれている。

①ディズニーは自分が作り出した人気者のキャラクターである「うさぎのオズワルド」の映画の続きを作れ

なくなってしまう。法律上の手続を忘れていた為、配給会社と争うことを諦めて新しいキャラクターを作ることにする。落ち込んでいるディズニーに、妻は飼っていたねずみをモデルにしたらどうかと提案する。こうしてディズニーは、妻に励まされて、苦心してミッキーマウスを生み出す。

②ディズニーは助手であり友人であるアブと共に、6週間かかってミッキーマウスのまんが映画を作る。しかし、さっぱり売れない為、新しく出始めていた音の出る映画に挑戦することにする。音と画面がずれない様に工夫したり、まんが映画に向く音を考えたりして様々な工夫をこらし、やがて大変な人気を呼ぶ様になる。

2つの困難に直面した時のディズニーの気持ちについて考えさせ、ミッキーマウスが誕生するまでにはいいことばかりではなかったことや、ディズニーの不安、焦り、怒りなど、ネガティブな感情に共感させたい。さらに、困難なことがあっても前向きになれた訳を考えることを通して、ディズニーの心の強さやどんときも夢や希望をもち続けることの大切さについて気付かせたい。

本学級の児童の実態を受け、次の場面を中心に話し合うことにする。

①人気キャラクターであった「オズワルド」が使えなくなってしまった場面。

ここでは、自分が生み出したキャラクターが使えなくなったディズニーの悔しさや悲しみに共感させる。

共感的

②自信をもって出した「ミッキーマウス」が全く売れなかった場面。

ここでは、夢を実現させたいという思いと無理かもしれないと揺れ動くディズニーの気持ちを押さえる。

投影的

③困難なことがあっても前向きに努力し続けたわけを考える場面。

ここでは、2度の困難にもくじけず努力し続けたディズニーの心の強さについて気づかせる。

分析的

以上の理由から、本主題を設定した。

4 本校研究テーマとのかかわり

「主体的に学び、心豊かな児童の育成」

～多面的・多角的な視点で物事を考え、自己の生き方を見つめる道徳授業の実践～

仮説1

他者と関わり合いながら共に学び合う授業を実践すれば、多面的・多角的な視点で物事を考える事ができ自己の生き方を見つめることができるであろう。

【具体的な手立て】

・グループ活動の時間を確保し、友達の多様な考えに触れさせる機会を確保する。

仮説2

道徳授業の積み重ねが分かる環境の整備や体験活動、家庭・地域との連携を充実させれば児童の道徳性を養うことができるであろう。

【具体的な手立て】

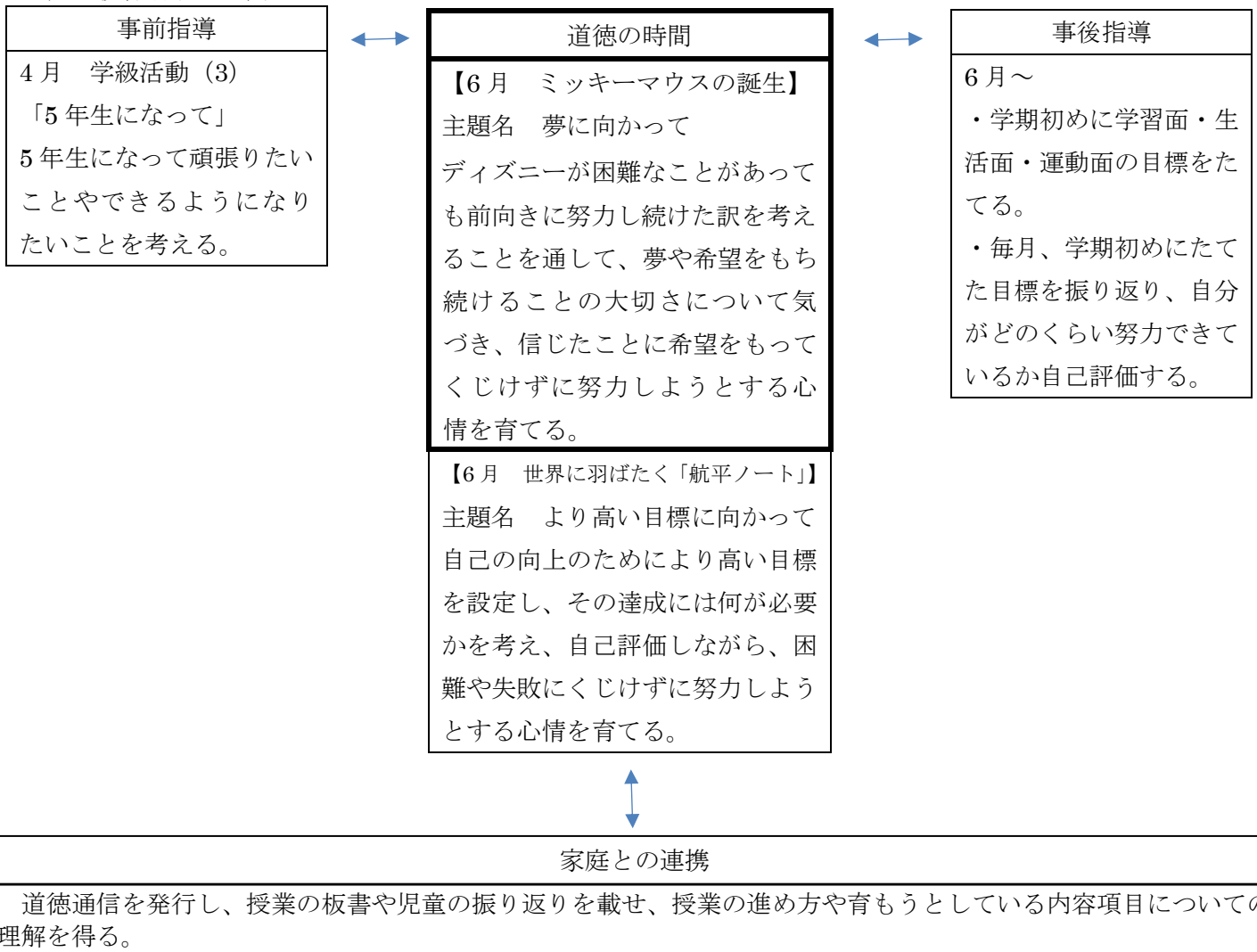
・教室に道徳コーナーを作成し、学習の足跡を掲示する。
・「道徳通信」を発行し、授業の板書や児童の振り返りを載せ、授業の進め方や育もうとしている内容項目についての理解を得られるようにする。

5 学習指導過程

段階	・学習活動(主な発問)	予想される生徒の発言	・指導上の留意点 ☆評価の視点	時間
導入	1 オズワルドの動画を見る。		・ミッキーマウスが生まれる前にウォルトディズニーが作ったキャラクターだということを説明する。	4
	2 アンケート結果を知る。		・ウォルトディズニーに夢があった様に、様々な夢をもった友達がいることをアンケートで確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 課題夢を実現させるにはどのような心が大切だろう。 </div>				
展開	3 教材について知る。		・ウォルトディズニーについて簡単に紹介する。	1
	4 教材の読み聞かせを聞く。		・P59 15行目まで読む。	2
	5 学習課題について話し合う。 ○オズワルドが使いえなくなって新しい人気者を作らなければならなくなったとき、ディズニーはどんな気持ちだったか	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしよう。 ・自分が作ったキャラクターなのに。 ・悔しい。 ・しょうがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が生み出したキャラクターが使いえなくなった悲しみ、悔しさに共感させる。 	2
	○自信満々で発表したミッキーマウスがさっぱり売れなかった。自分だったらここで諦めるか。諦めずに描き続けるか。	<p>【諦める】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう2回目の失敗だし諦める。 ・売れないとお金がもらえない。 ・自分には向いていなかった。 <p>【諦めない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の絵で世界中の人を笑顔にするという夢がある。 ・ここで諦めたら今までの努力が水の泡だ。 ・次はうまくいくかもしれない。 ・絵を描くことが好きだから諦めたくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2度目の困難に直面し、苦しみながらも新たな道を模索するディズニーの気持ちに共感させる。 ・希望やきれいごとばかりではないディズニーの気持ちに気付かせる。 ・心のものさしを使って自分のこととして考えられるようにする。 	
	○どうしてディズニーは困難なことがあっても前向きに努力し続けることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・夢があったから。 ・絵を描くことが好きだったから。 ・妻や仲間の支えがあったから。 ・失敗した悔しさをバネにできたから。 ・絶対売れるという自信があったから。 ・自分に賭けたかったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P59 15行目以降最後まで読む。 ・困難なことがあっても夢や希望をもち続けたディズニーの心の強さに気付かせる。 ・グループ活動で友達の多様な意見に触れさせる。 ・挙がった意見を種類ごとに分類する。 ☆困難なことがあっても、自分の夢や目標をもってくじけず努力し続けたディズニーの心の強さについて、友達の意見を聞きながら多面的・多角的に考えている。 	23
	6 今までの自分を振り返り、これからの生活について考える。		・困難なことに直面した経験についてのアンケート結果を提示し、現段階では諦めずに努力で	10

			<p>きた経験を持つ児童が多いことを確認する。しかし、この先生生きていく上で人生を左右するような困難な場面は誰にでもあるため、そんな場面に直面した時にどう行動したいか考えさせる。</p> <p>☆夢や希望をもち続けることの大切さについて気づき、信じたことに希望をもってくじけずに努力する大切さについて自分との関わりで考えている。</p>	
終末	7 ディズニーの名言を紹介する。		<ul style="list-style-type: none"> ・困難なことがあっても信じたことに希望をもってくじけずに努力しようという意欲がもてるように余韻をもって終わりにする。 	3

6 他の教育活動との関連



7 評価の視点

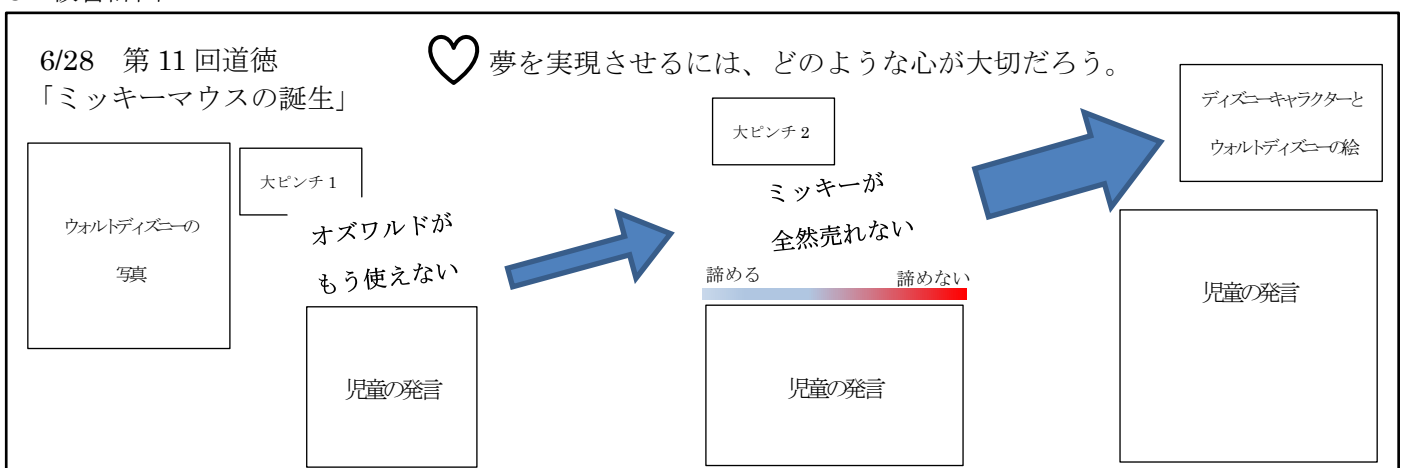
〈物事を多面的・多角的にとらえている様子〉

- ・登場人物の心の強さについて友達の意見を聞きながら分析的に考え、話し合っている。

〈道徳的価値についての理解を自分とのかかわりで深めている様子〉

- ・夢や希望をもち続けることの大切さについて気づき、信じたことに希望をもってくじけずに努力する大切さについて自分との関わりで考えている。

8 板書計画



【教材名】 ミッキーマウスの誕生 (出典「みんなの道徳 5年」 学研)
 【主題名】 夢に向かって

【条件・状況】
 主人公 ウォルト・ディズニー 登場人物 ディズニーの妻リアン・助手であり友人のアブ
 ・『うさぎのオズワルド』という漫画映画の続きがもう作れなくなってしまう。
 ・新しい人気者を作り出そうと決心し、自信満々で「ミッキー Maus」を作るが、全く売れない。
 ・様々な工夫の末、ミッキーマウスの映画は大変な人気を呼んだ。

【話題につなげたい場面や気持ちの変化、キーワードや話し合いの柱など】

